

【田布施町】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

町内の 5 校（小学校 4 校、中学校 1 校）において、「学校のネットワーク改善ガイドブック（令和 6 年 4 月付け文部科学省）」に示された「当面の推奨帯域」（以下「推奨帯域」という。）を達成している学校の割合は次のとおりである。

（１）「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査（令和 5 年 11 月付け文部科学省調査）」の結果による評価

推奨帯域達成学校数 5 校 推奨帯域達成率 100%

※簡易帯域測定結果を 1.4 倍した数値で評価。

※無線アクセスポイントに接続して通信帯域を測定しているが、電波干渉抑止を目的に出力制限をかけているため、120Mbps 程度が計測値の上限となる。

（２）契約サービスから推定される通信速度による評価（令和 6 年度時点）

サービス分類	推定帯域	推奨帯域 達成学校数	推奨帯域 達成率
1Gbps ベストエフォート	250Mbps	5 校	100%

※複数校で計測した L3 スイッチからの通信帯域を基準に推定帯域を設定している。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

現状、各学校での使用状況に対して必要なネットワーク速度は確保されており、ネットワークに関する変更等は予定していない。

（用語の定義）

帯域／通信帯域	単位時間に送信できるデータの量に関連する指標。通信速度を表す単位として、Gbps（ギガビット毎秒）や Mbps（メガビット毎秒）が使用される。
無線アクセスポイント	Wi-Fi 等の規格により端末をネットワークに無線接続するための通信機器。無線アクセスポイントが出力する電波同士が干渉し、通信品質が落ちる現象を電波干渉という。
1Gbps ベストエフォート	最大 1Gbps の通信帯域が利用できるサービス。複数の契約者で回線を共用するため、回線の混雑状況によって通信速度が変動する。
L3 スイッチ	学校内のネットワークを集約する通信機器。L3 スイッチに直接端末を接続することで、途中経路での通信帯域の減衰等の影響なくして通信帯域の測定が可能。